

南ヶ丘保育園 コンセプトシート

2014.05.15.

どんな空間が
南ヶ丘の保育に
ピッタリなのか
考えてみましょう。

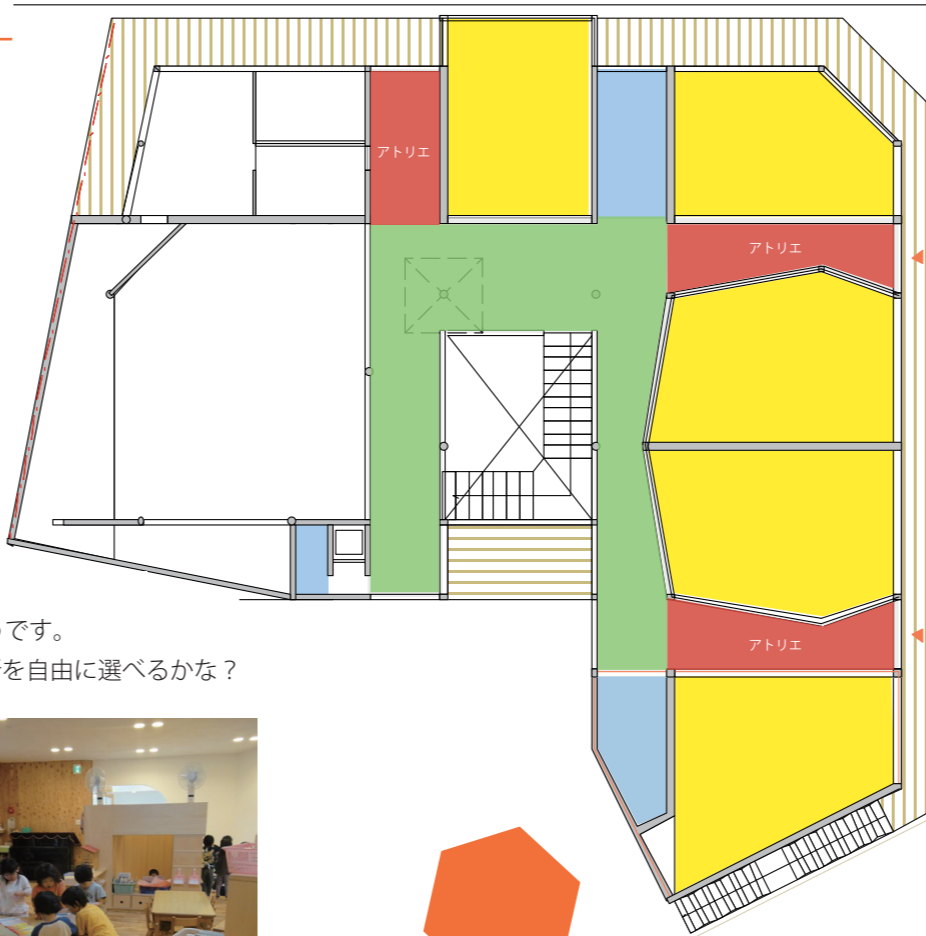


多角形な
保育室や廊下

多角形な空間には、ゆるやかな角（コーナー）
が生まれます。
それは自然に憩う空間や溜まりやすい空間を
生み出します。

絵本コーナー
お絵描きコーナー
休憩コーナー ...

アトリエでも保育室でも、ジグザグの壁を活かし、
小さなコーナーがたくさんあると、ワクワクする楽しい空間になりそうです。
それぞれ個性を持ったコーナーをつくれば、こどもたちも今日の居場所を自由に選べるかな？



階段の吹抜け空間

上下で目線を通じるのはもちろん、空間の広がりも感じさせます。
下の階が舞台になって、階段が客席になったりもできます。



1. 真四角じゃない保育室

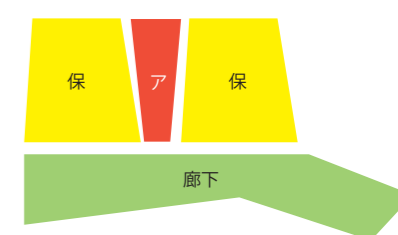
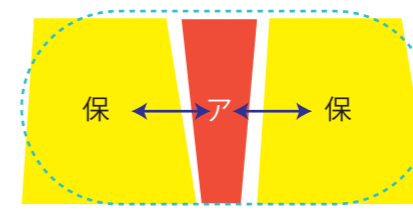
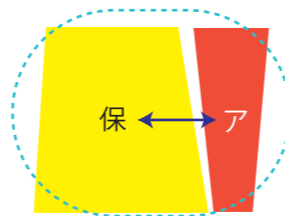
2. その隣にアトリエを

3. アトリエと保育室は自由に行き来

4. 2つのクラスで一緒に使います

5. 廊下もいろんな活動の舞台です

ワークスが
提案する
空間のつくり方



多様な場所、多様な活動が生まれるように
真四角の保育室ではなく、
不整形の少しジグザグした保育室とします。

不整形な保育室と保育室の間にアトリエを挿入。
アトリエは廊下とデッキをつなぐ場所であり、
こどもたちの活動の中心ともなります。

アトリエと保育室はつながっており、
こどもたちは自由にアトリエと保育室を行き来して、
自主的に活動を展開していくこともできます。

保育室の間に挟まれたアトリエは
両側の保育室の共有の場所として使います。

廊下は広がっていたり、すぼまっていたり、
いろいろな活動が展開できるような
楽しい場所となります。